

まちの風景の中に赤黒が「映えます」みたいなどころがあれば、写真を撮れる場所ができていいですね。「赤黒のまちに行ってみよう」となるようなところもつくっていききたいです。火まつりも赤黒のイメージでありますし、「既存にあるものでコレも赤黒になるね」というイメージで連携していくのがいいのではないかと思えます。

畠山市長 たくさんの人が来ていただけるような赤黒のものがあれば、赤平市をもっと知ってもらえることにつながります。

鈴木会長 赤黒のまちのイメージづくりをすすめる、多くの人に赤平市へ遊びに来てもらえることにより、地元産業も

まちづくりに新しい風を呼び込みたい



赤黒の製品や、飲食店に赤黒のメニューをつくるのか、例えば赤黒まんじゅうがあればお土産になります。赤平市には誇れる素晴らしいものがないか、ぜひあるんです。赤黒のトイレトパーやスーツケースがあってもおもしろいと思います。

まだ、あまり知られていないこともあるので、赤平市に来て知ってもらおうきっかけの一つが赤黒というカラーで、新しいまちづくりに違った風が吹くと思います。

赤平市の可能性

畠山市長 この度の取り組みでまちづくりに新しい風を呼び込みたいと思います。コンサと連携して、赤平市の「赤黒のまちづくり」をすすめていくと、いろいろな可能性が広がりますね。

鈴木会長 可能性ということであれば、Jリーグが2026シーズンから公式戦が8月スタートの予定になっております。これは北海道にとってチャンスだと思っております。8月にシーズンが始まるとキャンプが6月頃になります。

北海道の気候的にとてもいい時期になるので、クラブチームをキャンプに誘致する動きがでてくると思っております。かなりの交流人口が生まれるので、赤平市にとっても練習試合などなら

かの形で寄ってもらうことを考えていけると思えます。

畠山市長 赤平市だけでなく、北海道全体としても交流人口に新たな動きが出てくる可能性がありますね。

最後に、北海道を始め全国で活躍されている鈴木さんから、赤平市民に向けて、まちづくりへのメッセージをいただければと思います。

鈴木会長 北海道のまちに住んでいる方は、自分のまちの良さに気づいていないところがあります。多くの方との交流で気づくこともあります。赤平市でも、一人ではできないことも、「だったらやってみようぜ」となるようなコミュニケーションの場があるといいですね。中学生や高校生も地域の大人の人たちともしっかりと話せる場があれば、前向きになることができると思います。

この赤平市には、まだ、石炭が埋まっているように、可能性がたくさん埋まっています。人口が少ないと嘆くより、発想を変えて、まだこれだけ人がいると考えると「まだまだできる」と頑張ることが大事です。

私の住んでいる幌岡の山は楽しいです。草刈りや枝拾いなどやるのがいっぱいあります。やることがあることは実は幸せなことです。足元を見ると、まだまだ可能性という宝物が眠っているのがこのまちなんですよ！

畠山市長 市の70周年を機に、委員会を中心に、官民挙げてイメージカラーの



赤平市には可能性が埋まっています

赤黒を活用して、まちづくりをすすめる、市民のみなさんも赤黒をきっかけに楽しんでもらえるように盛り上げていきたいと思えます。子どもたちが夢を持って、このまちが大好きになるようなきっかけをつくっていきけるよう頑張りますので、鈴木さんも、アドバイザーとして、赤黒のまちづくりへの協力をお願いいたします。

本日はお忙しい中、対談いただきありがとうございます。ありがとうございました。



PROFILE

□鈴木 貴之さんは、赤平市出身で日本の俳優、タレント、映画監督、放送作家、脚本家、演出家、プロモーター、DJ、ラジオパーソナリティ。また、実業家として、自身も所属する芸能事務所・株式会社CREATIVE OFFICE CUEの創業者で、現在は取締役会長を務める。

1990年 大学在籍中に演劇の世界に入り、劇団「OPPARTS」を結成。
 「OPPARTS」解散後は、タレント・構成作家としてHTB「水曜どうでしょう」などの数々の番組の企画・出演に携わる。

1997年	OPPARTS演劇「明日、赤平で」赤平公演を実施。
2001年	映画監督としても活動を開始。現在までに4作のメガホンを執る。
2007年	広報あかびら1月号 新春スペシャル市長対談。
2010年	「OPPARTS」を鈴木自身のプロジェクトとして再始動させ、2022年までに6作の舞台公演を上演。
2012年	赤平市幌岡の山を開拓し住居を建てる。
2015年	テレビ東京系「ドラマ24」不便な便利屋」で自身初の連続ドラマ放送の脚本・監督を務める他、作家としても活躍。
2016年	テレビ東京系「ドラマ24」不便な便利屋2016初雪」続編スペシャル放送。
2018年	そらち応援大使に就任し、空知を全国にPR。
2019年	HTB水曜どうでしょう「北海道で家建てます」赤平ロケ全10夜、放送。
2020年	NHK札幌放送局 毎週金曜日19時30分「北海道」のメインMC、現在放送中。
2021年	北海道コンサドール札幌オフィシャルサポーター就任。
2022年	株式会社コンサドール社外取締役(非常勤)に就任し現在に至る。
2023年	幻冬舎から「RESTART 犬と森の中で生活して得た幸せ」を出版。
2024年	閉館する道新ホール最後の舞台となるTakayuki Suzui Project OPPARTS特別公演「天

国への階段 北海道remix」があり
 がとう道新ホール」の作・演出・出演を手掛ける。
 【公演スケジュール】
 2024年 日程 6月21日(金)〜23日(日)

赤黒のまちづくり実行委員会が
 4月10日に設立



赤平市の市制施行70周年を機に、赤と黒のイメージカラーを生かした新たなまちづくりを進めていきます。北海道コンサドール札幌と協力連携するとともに、さまざまなまちづくり事業を実施するため実行委員会を設置し、アドバイザーに鈴木 貴之氏を迎え官民一体となって地域振興に努めてまいります。